

麻 醉 科 学 講 座

| | | |
|---------|-----------------------|---------------------------------------|
| 講座担当教授： | 上園 晶一 | 小児麻酔，心臓血管外科麻酔，肺高血圧の診断と治療 |
| 教 授： | 近江 禎子 | 区域麻酔 |
| 教 授： | 下山 直人 | 緩和医療，疼痛治療（がん，非がん） |
| 教 授： | 木山 秀哉 | 静脈麻酔，困難気道管理，麻酔中の脳波，周術期危機管理，麻酔を支える自然科学 |
| 教 授： | 下山 恵美 | 緩和医療，疼痛治療（がん，非がん） |
| 教 授： | 坪川 恒久 | 成人心臓麻酔，薬物動態，脳機能 |
| 教 授： | 石黒 芳紀 | 成人心臓麻酔，循環生理薬理，体外循環 |
| 教 授： | 鈴木 昭広 | 気道管理，ポイントオブケア超音波，医療安全 |
| 教 授： | 三尾 寧 | 麻酔薬の臓器保護作用，麻酔の質管理 |
| 准 教 授： | 桜井 康良 | 産科麻酔 |
| 准 教 授： | 瀧浪 将典 | 集中治療，医療安全，終末期医療と臨床倫理 |
| 准 教 授： | 近藤 一郎 | 脊髄における疼痛管理，術後疼痛管理 |
| 准 教 授： | 藤原千江子 (厚木市立病院に出向中) | 呼吸，モニター |
| 准 教 授： | 内野 滋彦 | 集中治療，急性腎傷害，血液浄化 |
| 准 教 授： | 鹿瀬 陽一 | 集中治療，エンドトキシン，蘇生教育，シミュレーション医学教育 |
| 准 教 授： | 須永 宏 | 筋弛緩薬 |
| 准 教 授： | 庄司 和広 | 術後疼痛管理 |
| 講 師： | 肥田野求実 | 区域麻酔 |
| 講 師： | 虻川有香子 | 小児麻酔，小児気道管理（SGD） |
| 講 師： | 照井 貴子 | 循環生理 |
| 講 師： | 木田康太郎 | 蘇生後脳障害に対する治療法の開発，吸入ガス，虚血再灌流障害，脊髄虚血性障害 |

| | | |
|------|----------------|-------------------------------------|
| 講 師： | 福島 東浩 | 集中治療 |
| 講 師： | 遠藤 新大 | 集中治療，輸液，栄養 |
| 講 師： | 山川健太郎 | 心臓自律神経調節による，致死性心室性不整脈の予防および治療戦略 |
| 講 師： | 池田 浩平 | 虚血再還流傷害，ナノデバイスの医薬応用 |
| 講 師： | ハシチウオヴィッチ・トマシュ | 術後鎮痛管理 |
| 講 師： | 吉田 拓生 | 救急・集中治療，循環器，重症患者の新規心房細動，ポイントオブケア超音波 |

教育・研究概要

麻酔科学講座の研究は，基礎，集中治療，緩和，ペインの4部門に分かれる。ここでは，2019年3月の段階で倫理委員会または動物実験委員会にて承認を受けており，かつ，麻酔科学講座に所属する者が研究代表者を務める研究課題について，研究課題名，研究代表者，進捗状況を列挙する。論文として発表されたものに関しては，研究業績を参照することにして，ここでは述べない。

I. 研究

1. 中枢神経系に及ぼす筋弛緩薬の作用機序の解明（上園晶一）：データ取得中
2. オランザピンの術後悪心嘔吐予防効果に関する多施設共同研究（近藤一郎）：論文作成中
3. 遊離皮弁における周術期目標指向型輸液療法の前向き調査（近藤一郎）：論文作成中
4. 超短時間作用型非脱分極性筋弛緩薬の開発を目指した基礎的検証（須永 宏）：データ取得中
5. 深い筋弛緩維持のためのロクロニウム持続投与量の検討（須永 宏）：データ取得中
6. 大孔減圧術における周術期発熱の頻度について（後ろ向き研究）（虻川有香子）：データ取得中
7. 経胸壁超音波エコーを使用した健常者におけるConcord体位（腹臥位+頭高位）の循環血液量の変化についての研究（虻川有香子）：データ取得中
8. 麻酔導入時に香り付マスクを使用し，小児患者のストレス軽減となるか（虻川有香子）：

- データ取得中
9. 小児輪状甲状間膜穿刺の安全性向上のための穿刺モデルの開発：超音波エコーによる挿管時の気管の変位についての検討（虻川有香子）：データ取得中
 10. 甲状腺手術における咽頭痛，嘔声の発生頻度についての検討（虻川有香子）：データ取得中
 11. 小児点滴ライン固定法の改革：術前の小児へのプリパレーションは点滴留置に役に立つか？（虻川有香子）：倫理委員会
 12. 小児ベクタスパー挿入術における経食道心エコーによる心臓の動きの解析について（虻川有香子）：倫理委員会
 13. 甲状腺手術における，挿管チューブ自動カフの咽頭痛軽減効果の検討（虻川有香子）：倫理委員会
 14. 小児麻酔における硫酸アトロピンの弊害の有無についての検討（虻川有香子）：倫理委員会
 15. 当院における仙骨硬膜外麻酔の際，Dimple（くぼみ）の頻度及びDimple存在下超音波エコー下仙骨硬膜外麻酔の広がりについて（虻川有香子）：倫理委員会
 16. McGrath MAC ビデオ喉頭鏡での喉頭展開における圧の測定（虻川有香子）：検討中
 17. McGrath MAC ビデオ喉頭鏡における喉頭展開時の安全のための圧アラームシステムの構築（虻川有香子）：検討中
 18. 手術室入室時の小児のストレス軽減のための入室着の検討（虻川有香子）：検討中
 19. 胸腔鏡下肺切除術後の心房細動発生にかかわる麻酔薬の影響について（山川健太郎）：論文作成中
 20. Burugada 型心電図を呈す患者の周術期不整脈発生に関する調査（山川健太郎）：学会応募中
 21. 術後予定外ICU入室患者の調査及びリスク因子の検討（山川健太郎）：学会応募中
 22. 重症大動脈狭窄症患者の非心臓手術における麻酔法の検討（山川健太郎）：学会応募中
 23. 全身麻酔手術における舌および口腔粘膜傷害の発症頻度及びリスク因子の検討（肥田野求実）：継続研究検討中
 24. 心肺蘇生後脳症の鎮静剤による脳保護戦略（木田康太郎）：データ取得中
 25. 腹部大動脈ステントグラフト内挿術後の開腹瘤縫縮術におけるエンドリークタイプと術中出血量に関する研究（池田浩平）：論文作成中
 26. 心停止蘇生後脳障害に対するミトコンドリア標的型治療薬の効果の検証（池田浩平）：データ取得中
 27. 心停止蘇生後脳障害に対する水素ナノバブルの治療効果の検証（池田浩平）：データ取得中
 28. マウス心停止蘇生モデルにおける一酸化窒素ナノバブル水の治療効果の検証（池田浩平）：データ取得中
 29. 心停止蘇生後脳障害に対するジクロロ酢酸の治療効果の検証（池田浩平）：データ取得中
 30. 二酸化炭素を用いた脊髄虚血に対する新たな治療戦略（岡部宏文）：データ取得中
 31. 重症手術症例において慈恵医大附属病院で行われるハイリスクカンファレンスに関する検討（小池正嘉）：論文作成中
 32. 重症患者に発生する発作性心房細動の多施設疫学研究（吉田拓生）：論文作成中
 33. 血液ガス分析装置によるAKIの早期診断（高折佳央梨）：論文投稿中
 34. 重症患者における急性腎障害に対するカルベリチドの効果（齋藤敬太）：論文作成中
 35. 敗血症に関する多施設観察研究（青柳佑加理）：データ取得中
 36. 薬剤の希釈液の種類の違いによる影響（青柳佑加理）：データ解析中
 37. 難治性疼痛及び慢性疼痛に対する学際的治療の多面的評価（八反丸善康）：データ取得中
 38. Fresh cadaverを使用した超音波ガイド下腰方形筋ブロック筋肉内注入（intramuscular quadratus lumborum block: intramuscular QLB）施行後の注入色素の広がり効果範囲についての検討（八反丸善康）：データ取得中
 39. 肺悪性腫瘍手術および膝関節置換術後の遷延性術後痛前向き調査（八反丸善康）：データ取得中
 40. 人工膝関節置換術（TKA: total knee arthroplasty）後の遷延痛はどの程度ADL（日常生活動作）に影響を与えるのか（濱口孝幸）：論文作成中
 41. 慢性痛に対する認知行動療法の無作為化比較試験による効果検証（濱口孝幸）：主幹機関倫理委員会通過

42. モルヒネの眠気に対するオレキシン受容体作動薬の効果 (下山恵美) : 終了
43. オキサリプラチン誘発性末梢神経障害に対するミトコンドリア保護薬の効果(下山恵美) : 終了
44. パクリタキセル誘発性末梢神経障害の動物モデル作成 (下山恵美) : データ取得中
45. マッキントッシュ型ビデオ喉頭鏡を用いた気管挿管教育の有用性の検討 (山本 祐) : 論文作成中
46. 日本集中治療医学会主催のICU入室患者登録システム事業への参画 (鹿瀬陽一) : 論文作成中
47. JIKEI Airway management for patient safety course (JAMP) 受講前後でのビデオ喉頭鏡による挿管技術の向上調査 (鹿瀬陽一) : 論文作成中
48. 胸筋神経ブロックが乳房切除・乳房部分切除術に与える効果の検討 (木村昌平) : 論文作成中
49. 婦人科悪性腫瘍患者に硬膜外鎮痛と腹直筋鞘ブロックの比較検討 (國吉英樹) : 論文作成中
50. 脊髄も膜下麻針による硬膜穿刺抵抗の比較, 検討 (内海 功) : 論文作成中
51. 術後アセトアミノフェン静注投与は肝機能障害を発生させるか (藤岡頌子) : 論文作成中
52. 輸血時のポンピングによる溶血について (内海 功) : データ取得中
53. 術中尿道カテーテル挿入と術後AKI/せん妄の発生との関連 (福島東浩) : データ修得中
5. 科学研究費助成事業 基盤研究 (C)・継続 : 蘇生後脳障害に対する新規ミトコンドリア標的型治療薬の開発と治療効果の検証 (池田浩平)
6. 科学研究費助成事業 基盤研究 (C)・新規 : 超短時間作用型非脱分極性筋弛緩薬の開発を目指した基礎的検証 (須永宏)
7. 平成 28 年度大学教育再生戦略推進費「課題解決型高度医療人材養成プログラム」・新規 : 慢性の痛みに関する教育プログラムの構築 (上園晶一)
8. 平成 30 年度慢性疼痛診療体制構築モデル事業・新規 : 東京慈恵会医科大学附属病院内における多職種ならびに複数科による慢性疼痛診療体制の構築 (上園晶一)
9. 厚生労働行政推進調査事業費補助金 (慢性の痛み政策研究事業)・新規 : 慢性の痛み診療・教育の基盤となるシステム構築に関する研究 (八反丸善康)

「点検・評価」

2015 年度に、臨床における 8 部門 (本院における麻酔部, 集中治療部, ペインクリニック, 緩和ケア, 術後疼痛管理部) の 5 部門, ならびに, 第三病院麻酔部, 葛飾医療センター麻酔部, 柏病院麻酔部) が確立し, それぞれの部署において, 臨床研究への取り組みがおおいに前進した。2018 年度も引き続きすべての部署において臨床研究がアクティブに行われた。臨床研究でまとまった結果が出たものに関しては学会発表にとどまらず, 英文論文にできるような指導体制も徐々に整いつつある。基礎研究部門も, 米国からの帰国者を中心に活発化し, 科研費の獲得数も安定している。2018 年度は, 症例報告も含めて 20 篇近い英文論文を発表でき, 昨年以上の生産性を確保できた。

研究業績

I. 原著論文

- 1) Kondo I, Kumemura M, Yamaguchi T, Yamakawa K, Nonaka Y, Iijima M, Uezono S. Accuracy of a novel oxygen mask designed for mainstream capnometer in non-intubated pediatric patients. J Anesth Clin Res 2019; 10(2) : 877. Epub 2019 Feb 25.
- 2) Endo A, Kuwabara Y, Yamakawa K, Sakamaki D, Suzuki A, Kondo I, Mio Y, Uezono S. Preoperative use of continuous positive airway pressure is related to postoperative respiratory complications in patients

II. 公的研究費

2018 年度における公的研究費獲得の結果は以下の通りである。

1. 科学研究費助成事業 基盤研究 (C)・継続 : 蘇生後脳症における脳保護戦略 (上園晶一)
2. 科学研究費助成事業 基盤研究 (C)・継続 : ミトコンドリア障害が関与する対称性遠位末梢神経障害の治療法の検討 (下山恵美)
3. 科学研究費助成事業 若手研究 (B)・継続 : ラット摘出灌流心臓における心筋収縮動態の高速高精度解析 (照井貴子)
4. 科学研究費助成事業 若手研究 (B)・継続 : 二酸化炭素吸入を用いた蘇生後の新たな治療戦略 (木田康太郎)

- with obstructive sleep apnea undergoing endoscopic sinus surgery. *J Anesth Clin Res* 2018; 9(12) : 871.
- 3) Yamaguchi N¹⁾, Yamakawa K, Rajendran PS¹⁾, Takamiya T, Vaseghi M¹⁾(¹ UCLA). Anti-arrhythmic effects of vagal nerve stimulation after cardiac sympathetic denervation in the setting of chronic myocardial infarction. *Heart Rhythm* 2018; 15(8) : 1214-22.
 - 4) Kakinohana M (Univ Ryukyus), Marutani E¹⁾, Tokuda K¹⁾, Kida K¹⁾, Kosugi S¹⁾, Kasamatsu S¹⁾, Magliocca A¹⁾, Ikeda K, Kai S¹⁾, Sakaguchi M¹⁾, Hiraia S¹⁾, Xian M (Washington State Univ), Kaneki M¹⁾, Ichinose F¹⁾(¹ Massachusetts General Hosp). Breathing hydrogen sulfide prevents delayed paraplegia in mice. *Free Radic Biol Med* 2019; 131 : 243-50.
 - 5) Savarese JJ¹⁾, Sunaga H, McGilvra JD (Cedarburg Pharmaceuticals), Belmont MR¹⁾, Murrell MT¹⁾, Jeannotte E (Albany Med Ctr), Cooke FE¹⁾(¹ Weill Med Coll Cornell Univ), Wastila WB (Burroughs Wellcome), Heerdt PM (Yale Sch Med). Preclinical pharmacology in the rhesus monkey of CW 1759-50, a new ultra-short acting nondepolarizing neuromuscular blocking agent, degraded and antagonized by L-cysteine. *Anesthesiology* 2018; 129(5) : 970-88.
 - 6) Miyazaki Y, Sunaga H, Kida K, Hobo S (Mitsui Memorial Hosp), Inoue N, Muto M, Uezono S. Incidence of anaphylaxis associated with sugammadex. *Anesth Analg* 2018; 126(5) : 1505-8.
 - 7) Yoshida T, Uchino S, Yokota T, Fujii T, Uezono S, Takinami M. The impact of sustained new-onset atrial fibrillation on mortality and stroke incidence in critically ill patients: a retrospective cohort study. *J Crit Care* 2018; 44 : 267-72.
 - 8) Abe T, Uchino S, Sasabuchi Y (Jichi Med Univ), Takinami M. The incidence and outcome of hyperlactatemia in patients admitted to the intensive care unit after elective surgery. *Am J Surg* 2018; 216(5) : 886-92.
 - 9) Shiba A, Uchino S, Fujii T, Takinami M, Uezono S. Association between intraoperative oliguria and acute kidney injury after major noncardiac surgery. *Anesth Analg* 2018; 127(5) : 1229-35.
 - 10) Fujii T¹⁾, Uchino S, Doi K (Univ Tokyo), Sato T¹⁾, Kawamura T¹⁾(¹ Kyoto Univ); JAKID study group. Diagnosis, management, and prognosis of patients with acute kidney injury in Japanese intensive care units: the JAKID study. *J Crit Care* 2018; 47 : 185-91.
 - 11) Yokota T, Uchino S, Yoshida T, Fujii T, Takinami M. Predictors for sustained new-onset atrial fibrillation in critically ill patients: a retrospective observational study. *J Anesth* 2018; 32(5) : 681-87.
 - 12) Harada D, Uchino S, Kawakubo T, Takinami M. Predictability of serum vancomycin concentrations using the kinetic estimated glomerular filtration rate formula for critically ill patients. *Int J Clin Pharmacol Ther* 2018; 56(12) : 612-6.
 - 13) Fujii T¹⁾, Sato T¹⁾, Uchino S, Doi K (Univ Tokyo), Iwami T¹⁾, Kawamura T¹⁾(¹ Kyoto Univ); JAKID study group. Human atrial natriuretic peptide for acute kidney injury in adult critically ill patients: a multicenter prospective observational study. *J Crit Care* 2019; 51 : 229-35. Epub 2018 Dec 1.
 - 14) Kotani Y (Japanese Red Cross Soc Wakayama Med Ctr, Kameda Med Ctr), Fujii T (Kyoto Univ), Uchino S, Doi K (Univ Tokyo); JAKID Study Group. Modification of sequential organ failure assessment score using acute kidney injury classification. *J Crit Care* 2019; 51 : 198-203. Epub 2019 Feb 26.
 - 15) Toyama S, Shimoyama N, Tagaito Y (Teikyo Univ), Nagase H¹⁾, Saitoh T¹⁾, Yanagisawa M¹⁾(¹ Univ Tsukuba), Shimoyama M. Non-peptide orexin-2 receptor agonist attenuates morphine-induced sedative effects in rats. *Anesthesiology* 2018; 128(5) : 992-1003.
 - 16) Toyama S, Shimoyama N, Szeto HH (Burk Med Res Inst), Schiller PW (Montreal Med Res Inst), Shimoyama M. Protective effect of a mitochondria-targeted peptide against the development of chemotherapy-Induced peripheral neuropathy in mice. *ACS Chem Neurosci* 2018; 9(7) : 1566-71.
 - 17) 木山秀哉. 抜いたらいかんぜよたかが抜管, されど抜管 抜管にかかわるヒューマン・ファクターズ. *日臨麻会誌* 2018; 38(2) : 170-5.
 - 18) 木山秀哉. CVCII発生: その時困らないため, 決めておきましょう CVCIIレッドゾーン対応. *日臨麻会誌* 2018; 38(5) : 638-45.
 - 19) 木山秀哉. 【周術期管理チームの実践】周術期管理チーム看護師の術後活動. *臨麻* 2018; 42(9) : 1236-41.
 - 20) 山口知紀, 鈴木昭広. 【術前診察基本の「き」】術前ルーチン検査 なくても麻酔, できるでしょ! ? *LiSA* 2018; 25(4) : 458-31.
 - 21) 藤岡頌子, 鈴木昭広. 【Point-of-Care 超音波 - basic から advanced skillまで -】ベーシック編 アドバンス編に必要な各臓器における超音波評価法の基本 気道エコーの基本. *救急集中治療* 2019; 31(1) : 39-46.

- 22) 浅野健吾, 鈴木昭広. 【内科医のための「ちょいあて」エコー-POCUS のススメ】超音波による ABCD 生理学的アプローチ A: 気道のエコー. *Medicina* 2018; 55(12): 1920-4.
- 23) 甫母祐子, 虻川有香子. 症例カンファレンス小児の扁桃摘出術 PLAN 3: 抜管は浅麻酔下で慎重に術後の呼吸管理も重要. *LiSA* 2018; 25(8): 833-5.
- 24) 福島東浩, 澁谷有香, 小林秀嗣, 西川正子, 庄司和広. 術後の抜管に要する時間への影響因子 麻酔薬の種類か麻酔科医の熟練度か. *日臨麻会誌* 2019; 39(1): 1-8.

II. 総説

- 1) 木山秀哉. 産科麻酔が専門でも知っておいて損はない, 薬物動態・薬理学の話. *分娩と麻* 2018; 100: 86-94.
- 2) 木山秀哉. 【麻酔管理と予後】麻酔深度と長期予後. *臨麻* 2018; 42(6): 853-9.
- 3) 肥田野求実. 【知っておきたい麻酔の知識】術前評価. *耳鼻・頭頸外科* 2018; 90(7): 502-8.
- 4) 丹保亜希仁, 鈴木昭広. Point of care 肺超音波. *臨麻* 2018; 42(11): 1447-58.
- 5) 甫母祐子. 抜いたらいかんぜよ 小児における安全な抜管. *日臨麻会誌* 2018; 38(2): 190-5.
- 6) 浅野健吾, 内野滋彦. 【血液浄化療法-持続的腎代替療法(CRRT)を中心に-】AN69ST(セブザイリス)とは何か? *日外感染症会誌* 2018; 15(3): 238-41.

III. 学会発表

- 1) Suzuki A. Role of SADs in obstetric airway management. 9th National Airway Congress. Kolkata, Sept.
- 2) Kimura A, Shibuya Y, Otani S, Ogiwara K, Hosaka E, Okui S, Tanaka A, Takano K, Endo A, Kida K. Additional ketamine infusion reduces the intraoperative thrombosis in free flap surgery: a retrospective review. *ANESTHESIOLOGY* 2018 (American Society of Anesthesiologists (ASA) Annual Meeting). San Francisco, Oct.
- 3) Otani S, Suga Y, Kida K. Modified submental endotracheal intubation in complex facial trauma cases: safer and faster intubation without disconnection of the endotracheal tube. *ANESTHESIOLOGY* 2018 (American Society of Anesthesiologists (ASA) Annual Meeting). San Francisco, Oct.
- 4) Yamaguchi T, Kumemura M, Kida K, Tubokawa T, Uezono S. Accuracy of a novel oxygen mask designed for mainstream capnometer in non-intubated pediatric patients. *ANESTHESIOLOGY* 2018 (Ameri-

can Society of Anesthesiologists (ASA) Annual Meeting). San Francisco, Oct.

- 5) Okabe H, Kimura A, Otani S, Takagi K, Ikeda K, Kida K. Hypercapnia prevents delayed onset paraplegia in a mouse model of spinal cord ischemia. *ANESTHESIOLOGY* 2018 (American Society of Anesthesiologists (ASA) Annual Meeting). San Francisco, Oct.
- 6) Takano K, Kondo I, Uezono S, Yamakawa K, Kojima C, Tanaka A. A before after comparative study of intraoperative goal directed therapy in free flap surgery for head and neck cancer. *ANESTHESIOLOGY* 2018 (American Society of Anesthesiologists (ASA) Annual Meeting). San Francisco, Oct.
- 7) Sakamaki D, Suga Y, Suzuki N, Suzuki K, Sunaga H, Kondo I. The integrated pulmonary index (IPI) for postoperative respiratory assessment after cesarean delivery. *ANESTHESIOLOGY* 2018 (American Society of Anesthesiologists (ASA) Annual Meeting). San Francisco, Oct.
- 8) Koike M, Kase Y. Mastering and maintaining endotracheal intubation skills with the McGRATH[®] MAC video laryngoscope for PGY-1 residents. *ANESTHESIOLOGY* 2018 (American Society of Anesthesiologists (ASA) Annual Meeting). San Francisco, Oct.
- 9) Tajima K, Yamakawa K, Takagi T, Hosaka E, Kuwabara Y, Sunaga H. Propofol anesthesia has the advantage to decrease postoperative atrial fibrillation compare to the volatile anesthetic agent in patient undergo VATS. *ANESTHESIOLOGY* 2018 (American Society of Anesthesiologists (ASA) Annual Meeting). San Francisco, Oct.
- 10) Suzuki K, Sunaga H, Yamakawa K, Suga Y, Kuwabara Y, Kondo I. Effect of rocuronium on emergence from propofol anesthesia in rats. *ANESTHESIOLOGY* 2018 (American Society of Anesthesiologists (ASA) Annual Meeting). San Francisco, Oct.
- 11) Kimura A, Kida K. Additional ketamine infusion reduces the intraoperative thrombosis in free flap surgery: a retrospective review. *ANESTHESIOLOGY* 2018 (American Society of Anesthesiologists (ASA) Annual Meeting). San Francisco, Oct.
- 12) Fujioka S, Hascilowicz T, Kinoshita A, Mio Y. Does post-operative intravenous acetaminophen routinely administered Q6h cause severe acute liver damage? *ANESTHESIOLOGY* 2018 (American Society of Anesthesiologists (ASA) Annual Meeting). San Francisco, Oct.
- 13) Utsumi I, Omi S, Hascilowicz T. Is it possible to

tactually recognize dural puncture resistance during puncture for spinal anesthesia? 37th Annual ESRA (European Society of Regional Anaesthesia and Pain Therapy) Congress, Dublin, Sept.

- 14) 押田一真, 澁谷有香, 金岡祐司, 池田浩平. (ポスター) 腹部大動脈ステントグラフト内挿術後の動脈瘤拡大に対する開腹瘤縫縮術-Endoleak type と術中出血量に関する検討. 日本麻酔科学会第 65 回学術集会. 横浜, 5 月.
- 15) 生天目磨依, 木山秀哉, 阿部まり子. (ポスター) 麻酔回路内の結露による換気量誤表示. 日本麻酔科学会第 65 回学術集会. 横浜, 5 月.
- 16) 田中厚子, 奥井聖子, 濱口孝幸, 八反丸善康. (ポスター) 術後の創部痛治療中に転倒を契機に転移性悪性腫瘍が見つかった 1 例. 日本ペインクリニック学会第 52 回大会. 東京, 7 月. [日ペインクリニック会誌 2018; 25(3) : P3-33]
- 17) 清水啓介, 虻川有香子, 小池正嘉, 吉田千寿. (ポスター) 外傷性横隔膜損傷による遅発性横隔膜ヘルニアの麻酔経験. 日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部第 58 回合同学術集会. 東京, 9 月.
- 18) 土井万由子, 木村昌平, 藤井輝之, 吉村萌子, 鹿瀬陽一. (ポスターディスカッション). 術後にクロルヘキシジンによる化学熱傷を起こした小児の一例. 日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部第 58 回合同学術集会. 東京, 9 月.
- 19) 佐野友里, 高宮達郎, 國吉英樹, 照井貴子, 鹿瀬陽一. (ポスターディスカッション). 鼓室形成術中に ST 上昇を呈し冠攣縮性狭心症の診断がついた一例. 日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部第 58 回合同学術集会. 東京, 9 月.
- 20) 木田康太郎. (シンポジウム 2 : 吸入ガスは蘇生率を上げるか?) NO 吸入による中枢神経保護. 日本蘇生学会第 37 回大会. 天童, 11 月.

IV. 著 書

- 1) 吉田拓生, 鈴木昭広. 12 章 : その他 50. ICU でのエコーの使い道. 田中竜馬 (Intermountain LDS Hosp) 編. 集中治療, ここだけの話. 東京 : 医学書院, 2018. p.404-17.
- 2) 坪川恒久. Part 1 : 総論 第 3 章 : 人工心肺装置の仕組み. 坪川恒久編. 心臓麻酔デビュー : LiSA コレクション. 東京 : メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2018. p.23-30.
- 3) 木田康太郎訳. Section 5 : 物理学. 長坂安子 (聖路加国際病院) 監訳. グラフィック麻酔学 : 臨床が楽しくなる図・式・表. 東京 : メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2018. p.179-207.

V. その他

- 1) 虻川有香子, 小田秀明, 菊池 賢, 広木公一, 尾崎 眞, 野村 眞. マウスにおける感染および酸の喉頭肉芽形成の病理学的検討について. 東京女医大研紀 2019 ; 38 : 66-7.
- 2) Hattamaru Y, Hascilowicz T, Utsumi I, Murakami Y, Oumi S. Iatrogenic tension pneumothorax developed during ventriculo-peritoneal shunt surgery and detected shortly before extubation. JA Clin Rep 2018 ; 4 : 39.